

6年生

「AB組 社会科

縄文・弥生土器にドキドキ」

10/5～10/9

TUE

FRI

後期から6年生は社会科で歴史の学習を始めています。弥生時代の米作りでは昨年度5年生の時に長野県の水田と本校にある学校田にて取り組んだ稲作活動を思い出しました。また6年生在校児童の保護者から、家族が発掘したという縄文&弥生土器をお借りできたので本物を目の前にして歴史の授業を深めることができました。貴重な土器をお借りできたこと、とても感謝しています。今からはるか昔に、確かにここ東京の地で生活していた人達があったこと、またどんな思いで生活していたのか想像できることが楽しかったです。特に弥生時代は銅鐸の完全復元を試み、銅鐸が奏でる音を通じて当時の暮らしを再現する取り組みが日本のあちらこちらで見受けられ歴史のロマンを感じます。

現在は約800年前に源頼朝が鎌倉の地で征夷大將軍として政治を行ってきた理由をきっかけに、地形や切通しなど遺跡の歴史や人物について学んでいます。今後家族と鎌倉を訪れるならどこに行くか良いのかを個々にプランし、歴史のロマンを感じながら学習を進めていきます。当時の人達の暮らしや史跡を取り上げた学習を通じて、児童の関心や学習意欲を高め、日本の歴史や伝統文化を大切にする国際人になってほしいと願っています。



スマートライフ  
を意識した  
新しい学校生活

